

## 令和元年度第1回学校関係者評価委員会議事録

開催日時	令和2年3月12日(木) 18時～19時30分
開催場所	宮崎リハビリテーション学院 会議室
参加委員(4名)	中田 洋輔様(職能団体代表)、櫛橋 弘喜様(業界代表)、 古瀬 正志様(卒業生及び業界代表)、山路 英敏様(保護者代表)
委員以外の出席	大野 和男、鶴田 和仁、東 明、高月 航
議題	1. 教員自己評価アンケート集計結果報告 2. 教員自己評価アンケート集計結果内容について
議事	<p>1. 大野代表理事の挨拶 学校設立からこれからの展望についてなどを含めて挨拶が行われた。</p> <p>2. 委員長・議長の選任 互選により古瀬委員が委員長となり、本会の議長を務め議事が進行された。</p> <p>3. 第1議題 高月事務長兼学科長より、教員自己評価アンケート内容およびその集計結果について説明がなされた。</p> <p>4. 第2議題 教員自己評価アンケート集計結果の各評価項目について意見の交換が行われた。</p> <p><b>【質問および意見】</b></p> <p>①教育理念・目的・人材育成等について ・教育理念等明確に定められており、パンフレット・ホームページ等に記載しており、特に問題はないが、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーについても学校案内等に明示すると良い。</p> <p>②学院運営 ・定例の職員会議が開かれており、また学務システムを導入し、適切に学生基本情報・出席状況・履修状況の管理を行っており、問題はない。 ・教育活動に関する情報はシラバス、ホームページなどで適切に公開されているが、保護者まで伝わるような仕組みづくりをお願いしたい。</p> <p>③教育活動 ・教育開発委員会を設けているが、どのような案件を扱っているのか。 →学科内でのカリキュラムツリーやシラバスの記載内容、テキストや教育方法の見直しなどを行い、学生・教員の能力向上を図っている。また次年度より指定規則改正による新カリキュラムが適用されるが、その新カリキュラム作成において中心的な役割を果たした。 ・教育内容や学習評価方法、授業内容・方法などについては教育課程編成委員会を設置し検証する場を設けると良い。</p>

	<p>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。  →これまでは臨床実習指導者会議などで学生教育等について頂いた意見を取り入れていたが、今後は本委員会からの提言加え検討していく。</p> <p>④学修成果</p> <p>・入学後の学び直し、早期からの個別面談などを通しての学習指導などの結果として、国家試験合格率では全国平均を10%上回る90%以上を維持している。</p> <p>・専門実践教育訓練給付制度指定講座を受けているが指定の維持に向けた取り組みを行っているか。  →入学後のリメディアル教育を取り入れ、問題を抱える学生の早期発見のための定期的な面談を行っている。また退学者のほとんどが1年次であり、その理由を分析して、対策をとる必要があると考えている。</p> <p>⑤学生支援</p> <p>・保護者としては入学後、卒業・国家試験受験までの3年間どのような教育が行われるのか知りたいと思っているため説明の機会などがあると良い。  →昨年末よりメール連絡網サービスを用いた定期的な情報提供を始めており、また今後は入学後の後援会総会などにて説明会などを行う予定にしている。</p> <p>・卒業生への支援体制はどのようなことが行われているのか。  →求人情報の提供、それに関する問い合わせ相談対応や学校図書・ジャーナル等の閲覧などについてその都度対応している。</p> <p>・就職セミナーや学校独自の就職説明会を年2回開催し、就職率100%が維持できている。</p> <p>⑥教育環境</p> <p>病院が設置母体という事を活かし、カリキュラム外を含め臨床での実習が充実している。</p> <p>⑦学生募集</p> <p>高校訪問、ガイダンス、進学情報サイト、ホームページを活用し実施しているが、高校生が情報を求めやすくするためホームページのリニューアルを行うと良い。</p> <p>⑧財務</p> <p>・特に問題なし</p> <p>⑨法令等の遵守</p> <p>・法令や設置基準を遵守しており問題はない。</p> <p>⑩社会貢献・地域貢献</p> <p>・ボランティア活動については案内掲示だけでなく、より積極的な働きかけが必要である。</p>
	<p>5. 閉会  滞りなく議事進行し、定刻通り終了した。</p>
	<p>令和2年3月26日</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人  古瀬正志</p>